

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
「確かな学び」他者の意見を聴き自分の考えを広げたり深めたりすることができる子ども。
「豊かな心」9年間を通して正しい人権意識を持って行動し、自他の良さを認め合うことができる子ども。
「健やかな体」心身の健康をはぐくみ、自他の生命を大切にできる子ども。

堺市立さつき野小学校

校長 中曾 一彦

令和5年度 重点目標

『子どもたちが自分の良さや可能性に気づき、多様な他者と協同しながら、社会の変化に柔軟に対応できるよう、保護者・地域・学校が一体となり総合的な学力を育成する』

確かな学びの現状

全体的に学習に向かう姿勢は良いが、全国学力テストの質問紙項目「将来の夢や目標はありますか。」の項目においては、過去数年連続、全国平均を下回っている。このデータをさつき野学園の課題としてとらえ、今後さつき野学園の児童生徒に必要な力は何かを職員で議論し、まちがいをおそれず主体的に学びに向かっていく力と、基礎的な学力の2つがあがった。そこで、今年度の研修テーマを「まちがいをおそれず、主体的に学び、9年間で自分の夢を見つけることができる児童生徒の育成」とした。取り組みは大きく3つで、授業研究を通じた情報活用能力の育成と、自主学習ノートや朝の時間を活用した基礎的な学力の向上、そしてこれら2つを支えるカリキュラムマネジメントの取り組みである。

豊かな心・健やかな体の現状

数年前から行っている食育への取組や、体育行事として小中合同の大運動会、マラソン大会を行っている。大運動会は全学年合同で行い、中学生が中心となり大運動会の準備や運営を行う。体力の向上を目指しながら様々な学年と交流することで、人間関係の広がりやつながりを通して、上級生は下級生を思いやる気持ち、下級生は上級生に憧れを抱くなど、心の育みにもつながっている。また、小中での交流授業を行い、様々な学年と交流しながら学ぶ機会を設けている。異学年との交流をする中で、多様な価値観に触れることができている。小中一貫校の特徴を活かし、児童の豊かな心、健やかな体が育まれるよう、活動の工夫をしている。

Table with 10 columns: 大項目, 中項目, 具体目標, 具体的な取組, 判断基準, 評価方法, 評価時期, 進捗確認, 達成状況 (年度末), 自己評価, 学校関係者評価. Rows include '確かな学び' (Academic Improvement), '豊かな心・健やかな体' (Heart and Body), and '地域協働' (Community Cooperation).

校長より(年度末)

【確かな学び】4つの情報活用能力「問いを持つ力」「情報を集める力」「集めた情報を整理・分析する力」「情報をまとめ・表現する力」の育成に力を注いだ。四則計算の力を小学校6年間で培い、中学校の3年間でその力の定着を図る算数・数学科の系統性についても小中一貫教育の中で取り組むことができた。
【豊かな心・健やかな体】小中一貫校の強みを活かした「たてわり活動」や学校種別を超えた教員による子どもたちへの「寄り添い」を継続的に実施することができた。
【地域活動】学校ホームページ、tetoruの配信を通じて、日々子どもたちの活動の様子や情報をタイムリーに伝えることができた。

学校関係者評価者から(年度末)

学力だけでなく、心の成長もしっかりとサポートが必要だと感じる。9年間を通じて誰もがそういった種類のアンケートにおいて、肯定的評価のできる学校をめざしてもらいたい。